

# 平成 29 年度第 4 回白馬村図書館施設検討委員会議事録

日時 平成 30 年 2 月 26 日 (月)

午後 3 時 30 分から

場所 ふれあいセンター 2 階 学習室

- 1 開会 生涯学習スポーツ課 松澤課長
- 2 あいさつ 富山委員長、花井裕一郎氏
- 3 会議事項
  - (1) 平成 29 年度図書館施設検討委員会報告書(案)について
  - (2) 平成 30 年度事業について
  - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉会 生涯学習スポーツ課 松沢宏和 係長

## 出席者

検討委員 富山正明、塩島弘之、太田和也、小川由美子、長島律子、  
高橋英子、宗川尚美

ファシリテーター 花井裕一郎

事務局 生涯学習スポーツ課長、課長補佐兼係長、公民館主事

傍聴 蓮井さん

## 白馬村図書館施設検討委員会（第4回）会議録

開催日時	平成30年2月26日（月）PM3:30～6:00
開催場所	ふれあいセンター2階 学習室
出席委員	富山正明、塩島弘之、太田和也、小川由美子、宗川尚美、長島律子、高橋英子、
事務局	生涯学習スポーツ課長、生涯学習スポーツ課長補佐兼生涯学習スポーツ係長、公民館主事、白馬村図書館司書
傍聴者	1名（蓮井）

### ◆あいさつ 委員長

年度の終わりにかかり、図書館検討委員も総括を進めるなかで来年度に向けて方向性を見つけていきたいと考えている。皆さんの忌憚のない意見をお願いします。

### ◆報告書案について

**係長** 図書館検討委員会は教育委員会へ答申を行う機関である。検討委員会は来年度も続けていくが、今年度で区切りをつけ確定した形として報告を教育委員会にあげていく。3月にも検討委員会を予定しており、次回で29年度のとりまとめを行う。第5次総合計画、村の教育大綱にも図書館整備の旨が書かれている。ワークショップ、検討委員会で出た意見を取りまとめて報告をする。30年度には答申を報告する予定でいる。資料の2, 3, 4ページは基本計画にあるものを掲載している。4ページには運営の理念も書かれている「村民の暮らしを支援し、まちづくりに役立つ図書館を目指します。」。図書館基本構想を来年度委託で作成するが理念も今後見直しが見られていく。運営方針も4つの柱で成り立っている。5ページには検討委員会の内容を抜粋したものである。6ページは新図書館の建築計画を掲載した。検討委員会で具体的に建築計画を作ろうというものではない。図書館基本構想に基本的な建築計画が載せられているが、検討委員会で議論したわけではないので参考資料として活用する。内容としては白馬村ではなく、どの市町村でもあてはまるようなことが書いてあることもある。8ページ以降はワークショップの報告となる。9ページ以降は高校、文化祭、シニアクラブ、中学生のWS結果を掲載している。中学校のWSに関して、「成長に役立つ図書館」、「人づくりに役立つ図書館」は図書館基本計画にあるものと一致させている。中学校のものは16ページまであります。17ページからは一般

WSでの意見をまとめたもの。19 ページは各グループでどうしてもあげてほしいベスト5をまとめたもの。20 ページは委員の名簿となっている。資料として用意したものは以上となる。

**委員長** 今年行ったことを網羅的にまとめようとしているのが分かる。この中でどういう方向性がいいのか決める必要がある。その前に大きな枠の中で新しい白馬村の図書館の基本の理念を何に置くのが良いのか一度考える必要がある。これから基本構想に進んでいくが、何を中心に置いていくのかがないと纏まらないので、核となるものを導き出したいと考えている。個々の意見をグルーピングして、6 ページにあったような基本的な考えをどう振り分けていくのかを実際にワークショップで出たものを踏まえて行いたい。もちろんそれが決定ではなくて、指標を出して固めていきたい。白馬村の図書館として何を特徴にしていきたいかご意見をいただきたい。今までに話したことを含めて思うことがあれば詰めていきたいと思います。例えば、宗川さんが話された子供の学習館や、白馬村の特徴である山などの自然を生かすこと、外国人が多いので外国人との交流など色々な国の人に集まってもらうなどの意見があったと思うが、そういう様なところで特色を打ち出せないかと思うがどうでしょうか。

**委員** 幼稚園でもアンケートをとってまとめてきた。大体の意見が資料に網羅されている通りです。みんなが集まれる場所、子どもがうるさくしても大丈夫なスペース、公園（芝生＋ベンチ）などがあれば良い。2割くらいは外国人やハーフの方なので多言語のもの。雨の日に行って楽しい場所があればいいと思う。そこに行けば白馬の歴史が分かる、託児預かり、児童館などそこに行けばなんとかなる、といったような場所が良い。ウイングやグリーンスポーツなどを統合したような場所が良い。ウイングは寒くて明るくなく、行き届いていない感じがある。人の手を常に加えられるような施設が望ましい。木のぬくもり、白馬の自然になじむものなど、幼稚園の意見は奇抜な意見と言うよりは現実的なものが挙げられていると思う。近場の図書館では大町や松川などが参考になりシンプルだけど総合的だと思う。

**委員長** シンプルだけど総合的なものが良いと。図書館という枠にとらわれず、そこに行けばなんとかなるというような場所。時間がつぶせる、くつろげる、気分が変えられるような中核施設としてほしい、と。今までに出たワークショップの意見とほぼ同じで、図書館の機能にとらわれていない意見が多かった。しかし図書館がかすれないようにする必要はある。

**委員** 今の村の図書館は10人も来れば座れないという状況。

**委員長** せっかく作るのだから＋アルファなものがほしい。

委員 ウイングやグリーンスポーツの良さを生かしたものができればと思う。まとまらなくてすみません。

委員長 一言に置き換えなく良いと思うのでイメージとして意見をほしい。せっかく雪がふるから、かまくらを作ってランタンを灯したりなども出来る。

委員 それはスキー場に任せたら良いと思う。役場は人材不足なので。

委員長 そういうことを何でもできるように条件を作っておくのが大切なのではないか。図書館に泊まりたいという意見も多かった。受験生などは勉強室で泊まれるなど。

花井 民間では流行っている。そういう影響が入ってきているのかもしれない。

委員長 +アルファを求めているのは事実だがどう表現するのが難しい。

委員 雨の日に行く場所がない。温泉や、山の資料館なども良いが遠かったりする場所もある。

花井 皆さんどうやって意見をまとめればいいのか分からないと思う。今日は今までのWSを見て頂いて、外せないものを出してもらおう。小布施では交流が方針だったので、交流と創造が中心になった。言葉遊びも含めて議論をして、小さい枠の中でたたき台を作っていくのが良い。「図書館＝本の館」と捉えていると思うが、図書館法は本だけにこだわっているのではない。みんなの悩みを解決するのが図書館で、本や道具を使って悩みを解決するのが今の図書館。網羅されていると方向性が分からなくなるので絞る必要はある。住民が誰でも集えるなど、そういうところを加味していく。今までに出た意見をソフトに考えていくのが良いと思う。あったかいところが良いなど、WSなどで出た意見をもとに方針を立てるのが良い。

委員長 言葉にしなくてもイメージがあれば。

花井 本が何冊あるとか機能的なものはまだいらぬ。

委員長 それはまた後に詰めていく必要はあるが、集めてくる本は、「そこに行けば白馬のことがわかる」というのであれば、白馬のことが分かる本がベースになる。本だけでなく映像や動画、CM、映画含めてそろえていかないといけない。山と自然、スキーなどが観光の基本になっていることを考えると、自然方面から白馬のことがわかる資料を一通りそろえる必要はある。観光面でも、観光に関して課題解決ができる資料を置いてほしいという意見があれば良い。細かい本の内容などは後々詰めていかないといけないが、現段階では詰める必要はない。

委員 観光に関しては観光局に行けばいいのではないかと思う。スキーに関してはスキー資料館などに行けばいいのでは。点在してればいいのでは。

委員長 課題が解決するという話にはならない。観光に関しても相談には応じるだろうが、自らが勉強するという場所ではない。自分が新しいものを作っていくためには図書館で調べていくなど。

委員 私は山系の図書館がいい。クライミングの講習や雪崩講習など。グローバルでインターナショナルな。

委員 白馬らしいということを考えると、新潟から来る人は岩岳の十字路あたりから山が開けて良いという。長野から来る人は堀之内あたりから山が開けていて良いという。これはすごい財産であり、皆が集うスペースとして 1 日中山を見られるスペースは外せない。ノースフェイスの 2 階では山を見て過ごすだけの人もいる。私も買い物せずに山だけを見る時もある。ハピアとビックはいい風景が見られる。駅前もそうだが電線を無くせばいい。倉下の湯の橋もしょっちゅう車が止まっていて写真を撮っている人がいる。これを生かさない手はない。

委員長 基本コンセプトとしては山ですね。そこを生かすものは外せない。

委員 全部先に建設場所を決めたら解決すると思う。白馬らしさというところをどこにすればいいかに置き換えるとビジョンが見える。大町の山岳博物館はパノラマで全方向が見える。しかし図書館はそうある必要はないと思う。個人的にはクロネコヤマトがある辺りがいいと思う。色々ビューポイントはあるが交通などを考慮すると車を止めて撮影するのは気が引ける。図書館はそういう場所を取れたり、滞在できれば良いと思う。なので先に場所を決めておくのも良いと思う。

委員長 深く深く考えるのも必要だが、基本的に必要なものを取りまとめる必要がある。

委員 コンセプトを山にすれば山が見える場所など、子どもの学習にすれば学校の近くなど、ということですよ。

委員長 そうです。今はどちらかという観光地でもあるし、自然に育まれているという事を考えると取り込まないほかはない。

委員 建設する予定の場所は決まっているのか。

課長 なんとなく上がっている場所はある。

委員長 検討委員で場所を推すのが大切。

委員 コンセプトから自然に場所が出てくると思う。

委員長 自然に作りやすくなると思う。WSでの意見をどこに突っ込むかも基本があれば満たせると思う。

委員 キャッチフレーズを決めていくのも良い。

委員長 一発でイメージが沸くようなキャッチーな意見がほしい。

委員 コンセプトも山だから建物も木を使って暖色系が良い。コンクリートのようなものではなく。

課長 経験上、カッコいいものを作ると維持管理が難しい。雨もれなどもあるのでシンプルな建物が 1 番良い。ウイングや中学も考えると普通の建物が良い。

委員長 コンセプトを満たしていれば良く、デザインはその次で良い。使い勝手

も考えるとシンプルなのが良い。

委員 観光を含めるとかっこいいのが欲しいという意見も出る。

課長 コンセプトがしっかりしていると自然とかっこいいものができる。

委員長 その辺のものに繋がっていく。

課長 役場内でも施設を新しくしていけないといけない時期にある。そういうことを含めて一步前へ進めるような、図書館だけでなく子どもや高齢者のスペースの複合になっていくとは考える。

委員 昨日塩尻の図書館に行ってきたが、受験のシーズンでもある事から座る場所がなかった。1階の子育て支援センターや、介護センターがあってそれを踏まえると、多目的な場所がないといけないなと思った。しかし基本的には図書館としてほしいものをそろえる必要がある。資料が集約されているが、中学生WSで挙げられた、静かである、勉強できる、くつろげるといったようなこの図書館でもあげられるような意見は満たしていかないとまずいと思う。コンセプトとしてそれを踏まえた上で白馬らしさを生かす必要はある。外国人、自然環境など諸々の意見を集約すると自然や人が鍵になると思う。そういうものがポイントとして上ののっかるようなもの良いと思う。個人的な意見としては、村民としてぬくもりがあるようなのが良い。子育てやシニア、よそから来た人を暖かく迎え入れられるような要素をもった図書館にできれば良いと思う。

委員長 色んな意味での暖かさが大事になる。

委員 誰でも行けるとするのが大事だと思う。シャトルバスを出すという意見も出たが、図書館へ行くための交通機関を整備していくのも大事。

委員長 そういう意見は総合的な意見として核になるのであれば大事になる。ぬくもりという面では例えばウォームビズというのがある。自分の家で冷暖房使うよりは図書館や博物館などの公共施設で温まろうという動きがある。そのために博物館などが無料開放されている時があった。要するに省エネの一環である。家に一人でじっとしているならば、図書館で本を読むなどもしてもらえばいい。

委員 化石燃料じゃなくてペレットなど自然の木などであったまるのもいいと思う。

委員長 資源利用にもなるし環境に優しいなどは良いと思う。そういうのを取り入れていくのも大事。そういう風に発想を膨らませていかないといけない。

課長 本だけでなくいろんなものがほしくなると思う。

委員長 本があるのは当然で、雑誌を読むついでに小説を読む等繋ぎ合わせる必要がある。司書にお勧めの本を聞くことや、映像が見られるブースなど多目的な機能があって図書館として繋いで動いていけるのが良いと思う。

課長 本を読まなくても良い、話をするだけでもいいなど、そういう所から始め

でも良いと思う。

**委員長** 司書の人と話をしていくうちに本を読むようになるなど、子どもでも同じで触れ合ったことで本に興味を持てればベスト。機会を作るのも良い。

**課長** いろんなところでWSやっているが、基本は図書館に来る人ベースの意見ばかり。来ない人の意見をどうすれば良いのか。

**委員長** WSに来ない人の意見をどう集めるのかが課題となっている。

**委員** 幼稚園の人は図書館では子供を静かにしないといけない、というのがあるので行かないという人はいる。自然の温かさを利用したものがいい。

**委員長** 高齢者などは、図書館は勉強する場であるという考えの人もいて敷居が高いから行かないという人もいる。家で暖房を使うくらいなら図書館に来れば良いといった感じで、来てもらうことが大切。そういう流れを作ることが大切。図書館に来る人の意見でも本に関することよりも、それに付随するグローバルな意見が多かった。図書館の雰囲気を変えてほしいという意見も多かった。

**委員** 図書館長はどう決めるのか。

**係長** 来年度募集をするが、実際に働いてもらうのは再来年度を予定している。募集は地域おこし協力隊として夏ごろから行う。全国公募を予定している。

**委員長** いい人が来てくれば良いと思う。

**委員** 本当はこういう場に来てもらえれば良いと思う。

**花井** 公募するのは覚悟がいる。それなりの給料をあげないと申込みが来ない。その人の生活を見た上での給料が必要。今の図書館長は役職だけではなく実践的に働くという人が多い。村民の方も検討委員会に覚悟を決めてほしいと思う。先頭に立って働いてもらうためには色々な情報を得てもらい、それなりの給料が欲しい。図書館に関係はないが、宮崎では月給90万でシャッター商店街を20店舗あけないといけないという課題があった。覚悟がないと良い人は来ない。今までに図書館長の審査をしてきたが、お金が多い方が人は来る。お金が高いととんでもない人も多く来る。後々値段を検討する必要はある。

**委員長** そこそこの給料できてくれる人が1番良い。安くてもやる気があって覚悟がある人を呼ぶ必要がある。

**花井** そこそこの給料で滅茶苦茶能力のある人を呼べるのがベストだと思う。白馬の館長は面白い人がくると思う。

**委員** バランスが大事だと思う。おもしろい地域性を生かして白馬らしさをアピールしていく必要がある。遊び心をもった人が来ることで良い街づくりにつながると思う。

**委員長** あんまり図書館に対して固い意見を持った館長が来ると面倒にもなるので、白馬らしさを図書館の活動にどう生かすかが大切になる。

**花井** 来年度の会議でも新館長の事を項目として挙げる必要はあると思う。館

長にあまり権限を持たせない自治体もある。予算要求でも予算は館長ではなく行政が管理する場所もある。小布施はそういうところではなかった。どこまで採用したか、どういう発言をして作っていくのかは検討委員会の材料になる。

**委員長** 館長にはどれくらいの権力を持たせるかなども決めないといけない。お飾りじゃないぞという館長に来てもらう。役場に対してもこういう館長がほしいという意見をいう必要がある。すべての権利を与えとかは役場内部での話。僕が昔いたところは、本課の庶務の財政担当しか財務に関われないという決まりがあった。間接的には説得力が落ちる。役場のシステムとして変える必要がある。出先の館長が知事あたりまで行き予算を要求するところがあった。段階に入ると色んな要素をつぎ込んで、熱かったマグマが地上にいかずに溶岩だまりのようになるという感じ。

**委員** 今の図書館の会議もそれと同様で、私たちの熱意がいまいち外に伝わってっていないと思われる。そういう体質であるのであればそれを改善していく必要がある。

**委員** 今の話し合いを集約してあげてくれれば。

**委員** 本来であれば熱い意見をもった人もいるが異動でいなくなったりする。

**委員長** 場合によっては副村長を連れて来るのもあり。ダイレクトに意見を要求する必要がある。

**花井** 検討委員会なので、検討したという証明が大事。ひとつひとつ検討していかないと次のステップに進めない。

**委員長** 今までは教育委員会とまりという話だったが副村長レベルが絡むという話にもなる。

**委員** 館長が良い感じで働けるようお伝えください。

**委員長** 了解しました。いざ蓋を開けてみると何にもしないと困る。リーダーシップがある人がいる。司書もやる気がある人が必要。やっとな私の出番、と思える司書が必要。そこに期待している。館長ができてから頑張ってください。

**委員** 次回の委員会である程度のコンセプトの賛成案を提出する方向性で。今日出したものを次回チェックするという方向性で良いか。

**課長** 次回の会議までに配る予定です。

**委員** 6ページにある意見は基本的な考えが網羅されていると思う。そこにある意見に今日出た意見を組み込ませるという形と、別個にコンセプトとして作る形とでたたき台を作って意見をあげてほしい。

**委員長** この文言でいいのか、今までに出たWSでの意見もまとめていく。

**委員** あくまで平成29年度の意見としてまとめていく。

**委員長** 基本構想を作っていく上でのベースとなり、まとめていきたいと考えている。ということなので意見を出して頂ければと思う。

**糸氏** 皆さんが言っている意見はすごく分かる。今現在の図書館の状況は本が好きな人しか来ないという状況。子どもは暇つぶしにも来るが、本を読まない、来たことが無い人を呼び込めるような場所として新図書館をつくっていければと思う。子どもと本をつなげるというのが出来ていない現状。本は本好きなお母さんが借りていくという状況で手助けをしているという状況で、大人に限っては本が好きな人しか来ていない。シニアクラブでのWSの様に、夜の図書館のように人と人をつなげるというような形ができればと思う。白馬にはいろんなひとがいるので、そういう人を生かしていければと思う。毎日新聞を読んでいる人も、勉強を教えてくださいという子もいる。そういう子たちを安心しておけるような場所にしたい。

**委員長** 不登校の子、学校に行きづらい子を図書館に来させて授業として勉強させている事例もある。学校側も公共図書館を使えるのは大事になるのではないかと思う。司書の中でもやりたいことはあると思う。そういうのもどんどん出して頂いて新しい事を考えて頂けると良い。

**委員** 山が見えて、子どもが走り回ったり、ぼーっとしている大人がいるような図書館が良いと思う。絵描きが雨の日に図書館に来て、白馬の絵を見て満足してもらったり、誰かが描いた白馬の絵が置いてあるなどのイメージがあるなど、他は大体みんながイメージしているもの通りです。ケーブルテレビでやっている田中欣一先生のような公民館講座などが見られるライブラリーのようなものがあれば白馬のことが知れる。白馬にいるのに知らないようなことを伝えていけるような場所になればいい。

**委員長** 今の意見はいいもので、歴史的な物をもっておかないといけない。色々な形で見せられるというのも大切。絵も発想としては大切。絵も図書館としては大切。白馬に関する絵があればそれでもいい。

**課長** シリーズものにしてその都度変えていってもいいと思う。

**委員長** ずるい考えだが、雨の日に絵が描けない時には写真を見て絵を描いてもらうのも良いと思う。夏場に来て描いている人もいるが、夏は山が見えない時もある。なかなかいけない場所を撮ったものをライブラリーにする。三段紅葉とか。

**課長** タイムリーだが氷河など普段いけないような場所などの良い。

**委員長** ライブラリーとして置いておく、本当の映像があれば良い。雨の時に見られるようなものを。本物を見たいと思わせるようなものがある。

**委員長** 白馬は山が近く、感じられるというのがある。こんなに高い山を見られる場所は世界でも意外と少ない。こんなに贅沢な場所は意外と少ない。是非行っ

てみたいと思わせるのが大切。そういう面では観光でも活かせる。

委員長 やっぱり山だという意見で良いですか。

一同 はい。

委員長 そこをベースに考えていくのがいいということですね。事務局で言葉考えて頂けると助かります。

委員長 他に何かありますか。

花井 2 ページの情報は近々の情報に入れ替えた方が良いでしょう。平成27年度の状況では古いので。もうちょっと近い情報があればいい。

係長 6 ページの新図書館の建築計画に関してはどうするか。検討委員会では議論していないので削除していいのか。

委員長 書きすぎると決まったかのように見えてしまう恐れがあると思っはいる。

係長 見直しを図るという形で良いか。

委員 「以前の委員会であげられた建築の参考資料」と書けば良いと思う。

委員長 以前の村民の意見を取り入れたものとして作り上げたもの、としておく。

委員 混ぜ込むのではなく資料として掲載すれば良いのではないのか。

委員長 会議として検討していないので資料として掲載しておく。

花井 資料というページを挟んでおく

委員長 まとめる方向としては一般の人の意見として出た物としてまとめて、こういった図書館を目指していくという程度でとどめておく。具体的なことを書きすぎると決定したかのように捉えられてしまいます。こういう意見が出たので、こういうコンセプトで生かしていくという程度で。理念などのしっかりしたものは来年度の基本構想でしっかり作る形になると思う。

花井 柱に出る言葉が出てきているので理念に活かしやすいのではないか

委員長 一言ではなく文章的な理念として出していく。専門的な人が考えた意見の方がかっこよくなる。

委員 そこが決まらなと。もう話し合いはいいですという感じです。

委員長 みなさんの意見の中でこれをキャッチフレーズにするかなどが見えてくる。次回の時に間に合えば文言をどうするか等最終的に作っても良いと思う。それはこれからもずっと続くと思う。

花井 案として提出するのはあり。構想として進めていく上で変わる可能性もあるが、検討委員としてはこういう風に理念を決めていってほしい、などと留めておく。

委員長 次回に向けてコンセプトをまとめてもらう。

花井 ネット見てもらえば大体似たような意見がある。

委員長 ぬくもりのある白馬など面白いような。可能な限り次回、基本となる文言を仕上げようというのでいいでしょうか。その辺は事務局考えて置いてください。報告するのは年度末でいいのか？

係長 次回は3月の10日前後を予定している。

委員長 次回までに作っていただく方向でお願いします。

委員長 来年度の事業についてお願いします。

係長 資料は特にはないが、館長は来年度募集をする。検討委員会の他に有識者会議を開く。図書館の基本構想を作るが委託をする。みなさんの意見を取り入れて委託する。完成年度に関して、役場の中でも複合施設として色々な意見が出てくると思われることもあり34年度という認識でいてくれればと思います。30年度の事業としては以上です。

委員 29年度で場所を決めるとあったが。

委員長 時間に余裕を持ちましょうという話になった。コンセプトが決まっていく中で場所が決まっていくというのものもある。新年度以降は公にはできないが場所を具体的に出してもらおうと思っている。

課長 またみんなで見に行けば良いと思う。

委員長 本当は決めるとあったが、そこまではいかなかった。複合施設として考えると時間が必要になる。焦らずじっくり考えていく。

課長 有利な記載という話があり33年度というのがあったが、しっかり作ろうという話になった。副村長を使って色々な補助金を使って建てようという話になる。

委員長 副村長は国からの人なのでより理想に近い図書館を作るために補助金を得てきてもらう。来年度に向けてかなり具体的に進めていく。細かいコンセプトの下で具体的に作っていく。まだWSもしていった方がいいか。

花井 構想になればまた違った意見が出てくると思う。

委員長 基本構想ができれば基本計画が出来ていく。どんな部屋がいる、どんなレイアウトができるとか出てくる。予算との絡みで設計図とか基本設計ではこれくらいの部屋がいる、〇〇を実現するためにはこういうレイアウト等、設計屋さんを交えてイメージを固めていく。さっきの雑談で出たような意見を取り込んで、複合的なものとして希望を取り込んで決めていく。

委員 こういう意見を次の人に引き継いでいけばいいのですよね。

委員長 次回はぜひ（公募委員側へ）どうぞ

委員 15人委員がいる中で、半分しか委員が出てない会議で意見をまとめていくというのは如何と思う。みんな忙しいのでいちばん出席率が高い日に会議を決めてもらいたい。多くのWSで得られた意見を少数の検討委員のメンバー

で決めるのは如何かと思う。議事録ももっと早くに見させてもらわないと意見を出すことも厳しい。

委員 校長がいないので小学校の意見がない。

委員 引き継ぐということしか出来ないので、11月～2月の間にできたこともあったと思うのでやり方を検討してもらおうといい

委員 議事録タイムラグがあると意見を忘れてしまう。

委員 通知と一緒に議事録を送ってもらえると助かる。

委員 反省点を読んだうえで会議に臨まないといけないと思う

委員長 一字一句というのではなくていいので+アルファとして意見をまとめる材料がほしい。今後の進める中でほしい

委員 保育園のアンケートをとったが、これをどういう動きをすればいいか指示していただけると助かる。行動を教えてもらった方が助かる。

委員長 より多くの人意見を吸い上げてもらいたい。アンケートをとってただけで十分。いいイメージをもってもらえただけで十分。来年度以降も具体的な話が出てくると思う。

委員 結構網羅されていると思ったが、一応提出しておきます。同じ事書いてあればまとめて頂ければ。

係長 今週中に花井さんの都合も併せて日程を決める予定です。

委員長 場合によっては私が来られない場合もあるので早めに日程を調整してもらえればと思う。年度末なので早めにしてもらえれば。

委員 会議の場所だが、広いとつぶやきが聞こえないので庁議室がいい。

花井 今日はすごくいいと思った。議論の仕方が分かって来たのではと思う。白馬らしさの中で自然とどうつながるか検討できたのは良かったと思う。次年度は図書館としての希望とか検討ができればと思う。

委員長 今日の会議はこれにて終わりです。